

製品名: ラミン A/C ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02200**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.45mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 74 kDa; Observed MW: 74,63 kDa

抗原情報

遺伝子名	LMNA
別名	LMNA; LMN1; Prelamin-A/C
遺伝子 ID	4000
SwissProt ID	P02545
免疫原	ヒトラミン A/C の合成ペプチド

背景

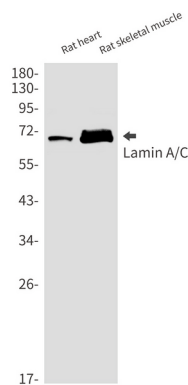
ラミンは、核膜の核質側にある繊維状の層である核ラミナの構成要素であり、核膜の骨格を形成し、クロマチンと相互作用すると考

えられています。哺乳類のラミナには、ラミン A とラミン C が同量存在します。ラミン A とラミン C は、核の組み立て、クロマチンの組織化、核膜およびテロメアの動態において重要な役割を果たします。プレラミン A/C は平滑筋細胞の老化を促進する可能性があります。プレラミン A/C は血管平滑筋細胞 (VSMC) の有糸分裂を阻害し、DNA 損傷を誘導することで、有糸分裂不全、ゲノム不安定性、および早期老化を引き起こします。

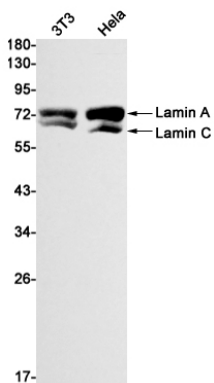
研究分野

タグとセルマーカー

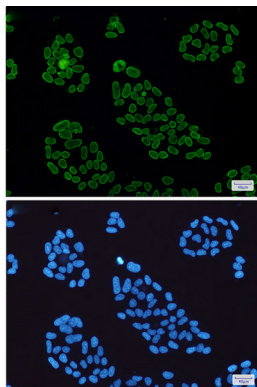
画像データ



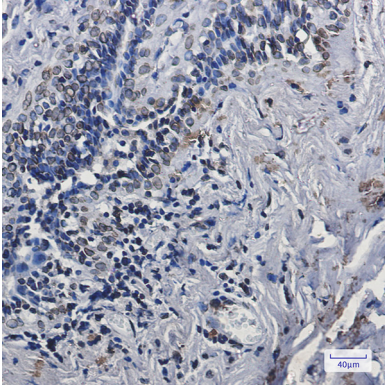
ラミン A/C 抗体を使用したラット心臓、ラット骨格筋溶解物中のラミン A/C のウエスタンブロット分析。



ラミン A/C 抗体を使用した 3T3、HeLa 溶解物中のラミン A/C のウエスタンブロット分析。



ラミン A/C 抗体と DAPI (青) を用いた HeLa 中のラミン A/C (緑) の免疫細胞化学分析



ラミン A/C 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト乳がんの免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。